

はじめに

私たちの住む地域を取り巻く環境は、少子高齢化、人口減少といった問題を背景に大きく変化しています。

千歳市の高齢化率は令和8年1月現在で24.6%と「全道一若いまち」と呼ばれている一方、世界保健機関(WHO)が定義する「超高齢社会」(人口に占める65歳以上の割合が21%以上)はすでに到来し、地域差はありますが、高齢化は一層進んでおり、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加するなど、超高齢社会への対応は大きな課題となっています。

そのような中で、「人とのつながりが続くこと」「自分の居場所や役割が地域にあること」などが、これからの「自分も地域も元気なまち」を目指すうえでとても大切であり、その取組に多くの関心が集まっています。

本ガイドブックは、「生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)」活動の一環として、関係機関の皆さまにご協力いただき、「介護予防の通いの場(サロン)」や介護保険制度だけでは対応が難しい場合に活用できる「介護保険制度外・自費サービスの生活支援等サービス」の情報を集め、平成29年に作成したものを令和8年の情報に更新して作成いたしました。

このガイドブックを皆さまの暮らしの良きパートナーとして、活用していただければ幸いです。

社会福祉法人千歳市社会福祉協議会

会長 井上英幸